

官民連携新技術研究開発事業 新技術概要書

		本概要書作成年月		平成22年1月28日	
1. 新技術名	住民参加型農村計画策定システム				
2. 開発会社	株式会社イマジックデザイン、株式会社ソニックビジョンクリエイト				
3. 資料請求先	会社名	株式会社イマジックデザイン			
	住所	〒980-0801 仙台市青葉区木町通1-5-1 アーバス仙台3F			
	担当課		担当者	進藤圭二	
	電話	022-716-6077	FAX	022-716-3634	
	ホームページ	<a href="http://www.imagicdesign.co.jp/">http://www.imagicdesign.co.jp/</a>			
4. 工種区分	大分類		小分類		
	水管理/情報処理		情報処理システム		
5. 新技術の概要	<p>農村資源の総合評価によるランドスケープデザインを効率的かつ効果的に行うための、住民参加型農村計画策定支援システムを研究開発する。</p> <p>①多様な農村資源データの容易な入力                  ②多面的機能の自動的・総合的評価                  ③地域住民が理解しやすいアウトプット</p> <p>等を実現して、ワークショップ等において得られた住民意向情報と基盤となる地域資源情報とのGISでの統合化により、計画策定者が、様々な目的に合わせた農村振興計画を、地域住民へわかりやすく説明できるとともに、住民との協働作業が容易に行えることを目的とした住民参加型農村計画策定支援システムである。</p> <p>本技術で開発したソフトウェアは、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・統計情報だけでなく、住民参加で得られた地域資源情報等の精度や性質の異なる情報をもデータベースに容易に統合することが可能である</li> <li>・多様な視点での多面的機能評価の視覚的に確認しながらの検討が可能である</li> <li>・クライアント-サーバ型によって遠隔地での共同作業が可能である</li> <li>・比較的小規模なハードウェアでも十分動作する</li> </ul> <p>などの利点を持ち、従来大規模なシステムで行うか、主に手作業で行っていた作業の効率化、および多面的機能評価の定量化を実現した。</p>				
6. 適用範囲(留意点)	<p>本研究の適用範囲は、国営事業所全般、県並びに市町村の農政関係事業所、各県土地改良事業団体連合会、土地改良区などがあげられる。基本的なGIS機能の部分は、様々な事業形態にフレキシブルに対応できるシステムとして設計されており、応用範囲は広い。具体例として国営事業所や県市町村の農業行政の情報処理、水土里情報の端末、土地改良事業団体連合会の情報処理業務などに適用でき、また農業行政以外のいわゆる「まちづくり」等にも利用可能な仕様となっている。</p> <p>多面的機能評価は、土地資源情報の集約、適正な土地評価、住民参加情報の集約と事業への反映を促進する等に積極的に作用するため、今後の農村土地利用計画全般に適用出来る。</p> <p>ワークショップ等の会議に適用することで、なおいっそうの水土里情報の有効活用が出来るようになり、かつ計画策定のプロセスが解りやすく表現でき、インタラクティブな操作系及び機能により会議が活性化され、住民参加型農村計画策定が促進される。</p>				

7. 従来技術との比較		新技術	比較する従来技術 (当初の工法・標準案)	比較の根拠
概要図				
工法名	多面的機能評価	なし		
経済性(直接工事費)	同目的での市販GIS利用と比較して1/3	市販GISは高価		ヒアリング等
工程	該当なし	該当なし		
品質	理解しやすい表現を採用	本システムと比較できる対象がない		
安全性	該当なし	該当なし		
施工性	該当なし	該当なし		
周辺環境への影響	住民参加型に寄与することにより農村環境が向上	住民が参加できるGISが存在しない		
8. 特許		なし		
9. 実用新案		なし		
10. 実績	農水省	九頭竜川下流(二期)農業水利事業		
	その他	山梨県土地改良事業団体連合会 京都府亀岡市		
11. 備考				